

慢性疾患対策の更なる充実に向けた検討会（概要）

知識の普及・サービス向上

- 慢性疾患の予防に資する知識の一層の普及啓発や提供される保健医療サービスの質を高める。

社会全体で支える

- 患者を多種多様な関係者、関係機関が主体的に関与することにより社会全体で支えていくことが求められている。

今後検討が必要な疾患


- 筋・骨格系及び結合組織の疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などは、施策のあり方を検討していくことが重要。

関係機関等との連携

- 糖尿病など既存の施策の対象となっている慢性疾患においても、関係医療機関等の連携をより一層促進させていくことなどが必要。

基盤づくり

- 患者が主体となる慢性疾患対策に社会全体で取り組む意識の醸成とその基盤づくりが必要。

- 
- COPD対策のあり方を議論していくことが必要
 - 循環器疾患・糖尿病等においても関係医療機関等の連携を促進させていくことが必要